

完了後の評価個表

整理番号 森3-1

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	広島県
ふりがな 地域(地区)名	あきたかたし 安芸高田市	事業実施主体	安芸高田市、安芸北森林組合等
関係市町村	安芸高田市	管理主体	安芸高田市、安芸北森林組合等
事業実施期間	平成17年度～平成21年度（5年間）	完了後経過年数	5年
事業の概要・目的	<p>① 位置等 安芸高田市は、広島県の中北部に位置し、北は島根県、南は広島市・東広島市、東は三次市、西は北広島町に接し、総面積は 53,779haである。 地形は得に急峻な山は無いが、市北部に標高 791mの犬伏山、市南部には標高 922mの鷹の巣山、標高 800mの大土山をはじめとして、350m～900mの山地をなしている。 これを縫うように市の中央部を江の川が貫通し、浸食平坦面を形成し、市全体では多様な地形を有している。</p> <p>② 森林の状況 本地区の総面積は 53,779haであり、森林面積は 42,478haで総面積の 79%を占めている。民有林面積は 38,234haで、そのうちヒノキを主体とした人工林面積は 10,459haで、人工林率は 27%である。 しかし、35年生以下の若い林分が約半数を占めており、今後も保育、間伐を実施していくことが重要である。 また、地区内の森林のうち、水源かん養保安林に 8,616ha、土砂流出防備保安林に 1,931haが指定されており、約90%が水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林に区分されている。<small>かん</small> このため、森林の持つ水源涵養機能等の公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③ 本地区を整備する目的・意義 本地区においてはこれまでに 10,459haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、保育・間伐等が必要な森林も多く、森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下等による森林整備の遅れが懸念される。 このため、林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、公益的機能の高度発揮や適正な資源管理のための森林整備を行ったものである。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 91ha、下刈 469ha、除・間伐 2,655ha 総事業費 2,891,643千円 当初総事業費 7,252,983千円)</p>		
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成 27年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。予算の効率的な執行に配慮した森林整備を行った。</p> <p>総便益 (B) 25,899,505千円 (事業採択時 40,308,838千円) 総費用 (C) 2,891,643千円 (事業採択時 7,252,983千円) 分析結果 (B/C) 8.96 (事業採択時 5.55)</p>		
② 事業効果の発現状況	<p>本事業で植栽されたスギ・ヒノキの成長は良好で、間伐等を行った箇所とともに健全な針葉樹林として育成されており、近隣の広葉樹林の整備とともに、江の川流域の農業用水や生活用水の供給源として、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備された。</p>		
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業で整備された森林は、地元森林組合及び林業に意欲のある森林所有者等により適切に維持管理がなされている。</p>		
④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備の実施により、林内の明るい単層林や複層林が整備され、森林の景観が向上してきている。土砂災害・土砂流出防止、河川生態系保全など森林の多面的機能の発揮により、地域における経済、社会環境の向上が図られている。</p>		
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>安芸高田市に隣接する北広島町に国産材の加工流通施設が整備され、本地区は原木の供給地としての役割が期待されている。効率的な流通加工体制を構築し、地域林業・木材産業の振興が図られている。</p>		

⑥ 今後の課題等	<p>森林整備は推進されているが、主伐や主伐後の再造林の実施は十分とは言えない状況であり、地域の木材需要に応えるためにも年齢構成の平準化が求められている。 ニホンジカの生息頭数が増加し、森林整備と鳥獣害被害対策を連動して実施する必要がある。</p>
評価結果	<p>【必要性】 本事業の実施後は、水資源貯留や洪水緩和機能等の水源涵養機能や土砂流出防止などの公益的機能の高度発揮に寄与するなど、本事業の効果が発揮されており、事業の必要性が認められる。</p> <p>【効率性】 森林整備の実施にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・施業内容を検討しており、事業コスト縮減に努め、総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。</p> <p>【有効性】 適切な森林整備の実施により、公益的機能の高度発揮が期待される森林が増加していることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 広島県

地域(地区)名: ^{あきたかたし}安芸高田市

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源 ^{かん} 涵養便益	洪水防止便益	6,892,356	
	流域貯水便益	2,448,512	
	水質浄化便益	6,003,193	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,209,742	
	土砂崩壊防止便益	2,031	
環境保全便益	炭素固定便益	343,671	
総 便 益 (B)		25,899,505	
総 費 用 (C)		2,891,643	
費用便益比	$B \div C = \frac{25,899,505}{2,891,643} = 8.96$		

森林環境保全整備事業 安芸高田市地区 概要図【広島県】

